



■ 当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2007年11月30日から2027年11月10日まで
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主としてアジア太平洋諸国（除く日本）と中東諸国の株式に実質的に投資し、投資信託財産の中長期的な成長を図ることを目的に運用を行います。
主要運用対象	ケイマン籍証券投資法人「SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド」および親投資信託「スパークス・マネー・マザーファンド」を主要投資対象とします。
組入制限	①投資信託証券、短期社債等、コマーシャルペーパーおよび指定金銭信託以外の有価証券への直接投資は行いません。 ②外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
分配方針	第3期決算以降、毎決算時に原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ・分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収入および売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 ・分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等は、収益分配を行わないこともあります。 ・留保益の運用については特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

スパークス・アジア中東株式ファンド (隔月分配型)

運用報告書(全体版)

第70期(決算日 2019年 7月10日)

第71期(決算日 2019年 9月10日)

第72期(決算日 2019年11月11日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、『スパークス・アジア中東株式ファンド(隔月分配型)』は、このたび、第72期の決算を行いました。
ここに第70期から第72期の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

スパークス・アセット・マネジメント株式会社

東京都港区港南一丁目2番70号 品川シーズンテラス

< お問い合わせ先 >

リテールBDマーケティング部

電話：03-6711-9200(代表)

受付時間：営業日の9時～17時

ホームページアドレス：<https://www.sparx.co.jp/>

■ 最近5作成期の運用実績

作成期	決算期	基準価額			MSCI AC Asia Pacific ex Japan Index		投資信託 受益証券 組入比率	投資証券 組入比率	純資産 総額
		(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
第20作成期	58期(2017年 7月10日)	円 9,734	円 45	% 0.3	1,157.8	% 3.1	% 0.3	% 97.5	百万円 3,011
	59期(2017年 9月11日)	9,632	45	△ 0.6	1,178.0	1.7	0.3	97.6	2,925
	60期(2017年11月10日)	10,374	45	8.2	1,307.9	11.0	0.3	96.2	3,041
第21作成期	61期(2018年 1月10日)	10,580	45	2.4	1,363.5	4.3	0.3	96.6	3,035
	62期(2018年 3月12日)	9,962	45	△ 5.4	1,281.4	△ 6.0	0.4	96.3	2,809
	63期(2018年 5月10日)	9,771	45	△ 1.5	1,281.6	0.0	0.4	96.3	2,704
第22作成期	64期(2018年 7月10日)	9,455	45	△ 2.8	1,250.7	△ 2.4	0.4	98.5	2,555
	65期(2018年 9月10日)	9,044	45	△ 3.9	1,207.0	△ 3.5	0.4	97.1	2,402
	66期(2018年11月12日)	8,630	45	△ 4.1	1,162.3	△ 3.7	0.4	96.9	2,265
第23作成期	67期(2019年 1月10日)	8,439	45	△ 1.7	1,118.0	△ 3.8	0.5	96.7	2,193
	68期(2019年 3月11日)	8,931	45	6.4	1,216.8	8.8	0.4	97.5	2,276
	69期(2019年 5月10日)	8,829	45	△ 0.6	1,205.3	△ 0.9	0.5	97.4	2,197
第24作成期	70期(2019年 7月10日)	8,952	45	1.9	1,220.1	1.2	0.5	98.6	2,168
	71期(2019年 9月10日)	8,601	45	△ 3.4	1,182.6	△ 3.1	0.5	96.5	2,067
	72期(2019年11月11日)	9,038	45	5.6	1,269.8	7.4	0.5	96.7	2,144

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドにはベンチマークはありません。参考指数は「MSCI AC Asia Pacific ex Japan Index」です。海外の指数は基準価額の反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

■ 当作成期間中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		MSCI AC Asia Pacific ex Japan Index (参考指数)		投資信託 受益証券 組入比率	投資証券 組入比率	
	円	騰 落 率 %	(参考指数)	騰 落 率 %			
第70期	(期 首) 2019年 5月10日	8,829	—	1,205.3	—	0.5	97.4
	5月末	8,591	△ 2.7	1,169.8	△ 2.9	0.5	97.5
	6月末	8,973	1.6	1,227.2	1.8	0.5	97.7
	(期 末) 2019年 7月10日	8,997	1.9	1,220.1	1.2	0.5	98.6
第71期	(期 首) 2019年 7月10日	8,952	—	1,220.1	—	0.5	98.6
	7月末	9,040	1.0	1,227.0	0.6	0.5	97.4
	8月末	8,301	△ 7.3	1,127.6	△ 7.6	0.5	96.5
	(期 末) 2019年 9月10日	8,646	△ 3.4	1,182.6	△ 3.1	0.5	96.5
第72期	(期 首) 2019年 9月10日	8,601	—	1,182.6	—	0.5	96.5
	9月末	8,484	△ 1.4	1,180.7	△ 0.2	0.5	96.8
	10月末	8,838	2.8	1,233.8	4.3	0.5	96.6
	(期 末) 2019年11月11日	9,083	5.6	1,269.8	7.4	0.5	96.7

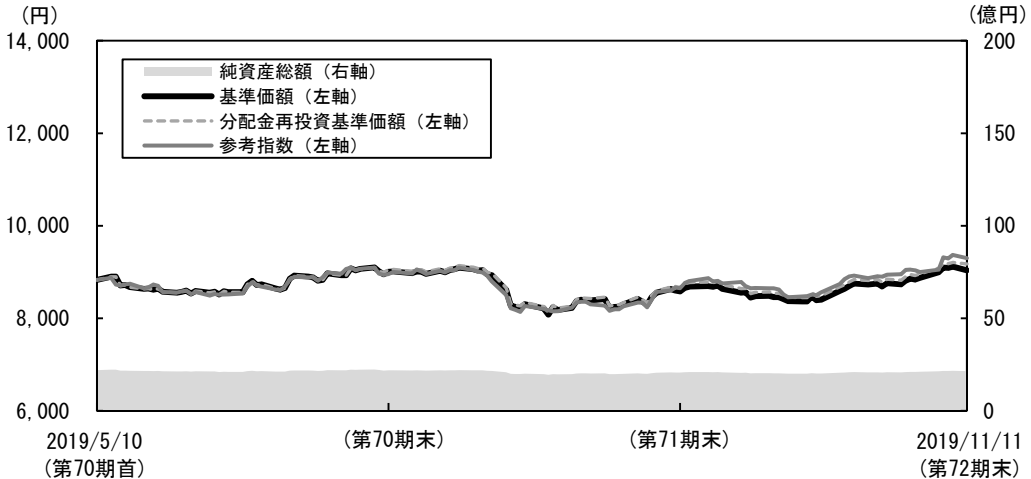
(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドにはベンチマークはありません。参考指数は「MSCI AC Asia Pacific ex Japan Index」です。海外の指数は基準価額の反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

■ 運用経過

1) 基準価額等の推移 (2019年5月11日～2019年11月11日)

基準価額は期首に比べ3.9%(分配金再投資ベース)の上昇となりました。



第70期首 : 8,829円
 第72期末 : 9,038円(既払分配金135円)
 騰落率 : 3.9%(分配金再投資ベース)

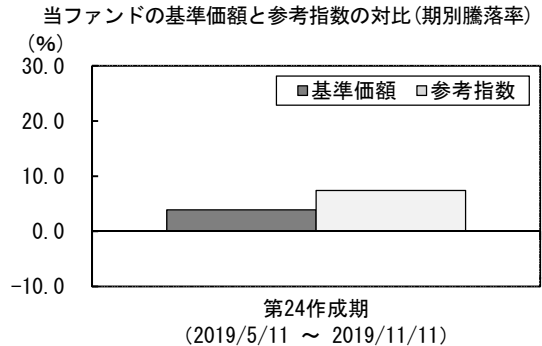
- ※ 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ※ 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- ※ 当ファンドにベンチマークはありません。参考指数は「MSCI AC Asia Pacific ex Japan Index」です。
- ※ 海外の指数は基準価額の反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- ※ 参考指数は期首(2019年5月10日)の基準価額に合わせて指数化しております。

2) 基準価額の変動要因

オーストラリアや台湾の各市場が上昇したことが、基準価額の上昇要因となりました。一方、オーストラリアドルが円に対して下落したことが、基準価額の下落要因となりました。

3)ベンチマークとの差異

- ※ 当ファンドはベンチマークを設けておりません。
右記のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率との対比です。
- ※ 参考指数は、「MSCI AC Asia Pacific ex Japan Index」です。



(注) 基準価額の騰落率は、分配金込みです。

■ 投資環境

(アジア太平洋諸国(除く日本)と中東諸国の株式)

米中貿易摩擦は両国が初めて歩み寄りを見せたことで、「小休止の様相」を呈しました。米国、オーストラリア、インドネシア、韓国、インドの中央銀行はそれぞれ政策金利の引き下げ等を実施し、自国経済の成長の下支えを図りました。テクノロジーセクターの堅調なモメンタムを牽引したのは、韓国株式市場と台湾株式市場でした。Apple社(米国)が発表した新型iPhoneの小売価格が予想を下回ったことが消費者の関心を呼び、同機種のサプライチェーンに属する企業の株価が底堅く推移しています。半導体/メモリ価格の底打ちが予想されること、5G(第5世代移動通信システム)投資が堅調に推移していることも、テクノロジーセクターの株価の下支え要因となりました。

(国内債券・短期金融市場)

2016年2月より「マイナス金利付き量的・質的金融緩和」を導入したため、国内債券・短期金融市場はマイナスの利回りとなりました。

■ ポートフォリオ

< スパークス・アジア中東株式ファンド(隔月分配型) >

「SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド(ケイマン籍証券投資法人)」と「スパークス・マネー・マザーファンド(国内証券投資信託)」の投資信託証券への投資を通じて、アジア太平洋諸国(除く日本)と中東諸国の株式を実質的な主要投資対象とし、安定的なインカムゲインの追求と中長期的なキャピタルゲインの獲得を目指して運用を行うことを基本方針としております。期間中、当ファンドの運用方針に準じて、運用を行ないました。

< SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド >

アジア太平洋諸国(除く日本)と中東諸国の株式を実質的な主要投資対象とし、安定的なインカムゲインの追求と中長期的なキャピタルゲインの獲得を目指して運用を行いました。ボトムアップ・リサーチによる個別銘柄調査に基づき、企業のビジネスの質や市場の成長性、経営に着目して、将来にわたるキャッシュフローから企業価値を推定し、この価値よりも株価が割安に放置されていると考えられる銘柄に選別投資しました。

(主なプラス要因)

世界最大手の半導体ファウンドリメーカー(半導体の受託製造企業)のTaiwan Semiconductor Manufacturing Company(台湾/情報技術)は、5Gスマートフォンの予想を上回る普及と投資ペースの拡大によって顧客からの旺盛な需要があると見込まれ上昇しました。中国広東省の国有企業で上水道の運営と下水処理を手掛けるGuangdong Investment(香港/公益事業)は、香港の水道水の75%超を供給し、独占的な契約によって安定的にキャッシュフローを生成しています。同社の事業には景気悪化の影響を受けにくい特性があるため、現状のように市場の変動が激しい時期には注目され上昇しました。

(主なマイナス要因)

スーツケースとバッグの世界的な大手メーカーで小売も手掛けるSamsonite International(香港/一般消費財)は、売上高が米国でも中国でも低調だったことが投資家の失望を買い下落しました。不動産事業を手掛けるCK Asset Holdings(香港/不動産)は、英国のEU離脱や香港の政情不安が業績に影響をおよぼすのではないかと懸念が、投資家の間に広まっているため下落しました。Saudi British Bank(サウジアラビア/金融)は、地政学的緊張の高まりが原因で、中東市場に対するセンチメントが悪化し、下落しました。

< スパークス・マネー・マザーファンド >

信託財産の着実な成長を図ることを目標として安定運用を行っています。当作成期間の運用にあたりましては、資産の安全性と流動性の確保を重視し、国債や短期金融資産中心の安定運用を行いました。

■ 今後の運用方針

< スパークス・アジア中東株式ファンド(隔月分配型) >

引き続き、「SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド(ケイマン籍証券投資法人)」と「スパークス・マネー・マザーファンド(国内証券投資信託)」の投資信託証券への投資を通じて、アジア太平洋諸国(除く日本)と中東諸国の株式を実質的な主要投資対象とし、安定的なインカムゲインの追求と中長期的なキャピタルゲインの獲得を目指します。

< SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド >

引き続き、アジア太平洋諸国(除く日本)と中東諸国の株式を実質的な主要投資対象とし、安定的なインカムゲインの追求と中長期的なキャピタルゲインの獲得を目指して運用を行います。ボトムアップ・リサーチによる個別銘柄調査に基づき、企業のビジネスの質や市場の成長性、経営に着目して、将来にわたるキャッシュフローから企業価値を推定し、この価値よりも株価が割安に放置されていると考えられる銘柄に選別投資します。

< スパークス・マネー・マザーファンド >

引き続き、信託財産の着実な成長を図ることを目標として安定運用を行います。今後も、資産の安全性と流動性の確保を重視し、国債や短期金融資産中心の安定運用を行います。

今後とも引き続きご愛顧を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

■ 分配金

当ファンドは、隔月（奇数月、原則10日）に安定的な分配を行うことを目指しております。第70期、第71期、第72期における分配金は、それぞれ1万口当たり45円（税込み）とさせていただきます。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

〔 分配原資の内訳 〕

(単位：円 1万口当たり・税込み)

項 目	第70期 (2019年5月11日～ 2019年7月10日)	第71期 (2019年7月11日～ 2019年9月10日)	第72期 (2019年 9月11日～ 2019年11月11日)
当期分配金 (対基準価額比率)	45 (0.50%)	45 (0.52%)	45 (0.50%)
当期の収益	45	45	45
当期の収益以外	—	—	—
翌期繰越分配対象額	2, 113	2, 117	2, 133

(注1) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。

(注2) 該当欄に数値がない場合は「-」、小数点以下のみの数値の場合は「0」にて表示します。

(注3) 当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

■ 1万口当たりの費用明細

項 目	第70期～第72期 2019年5月11日～2019年11月11日		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	42円	0.483%	(a) 信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(8)	(0.092)	・ファンドの運用、開示書類等の作成、基準価額の算出等の対価
(販 売 会 社)	(32)	(0.368)	・購入後の情報提供、運用報告書各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.023)	・ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	4	0.046	(b) その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(2)	(0.023)	・ファンドの監査人等に対する報酬および費用
(印 刷 費 用)	(2)	(0.023)	・法定書類等の作成、印刷費用
合 計	46	0.529	

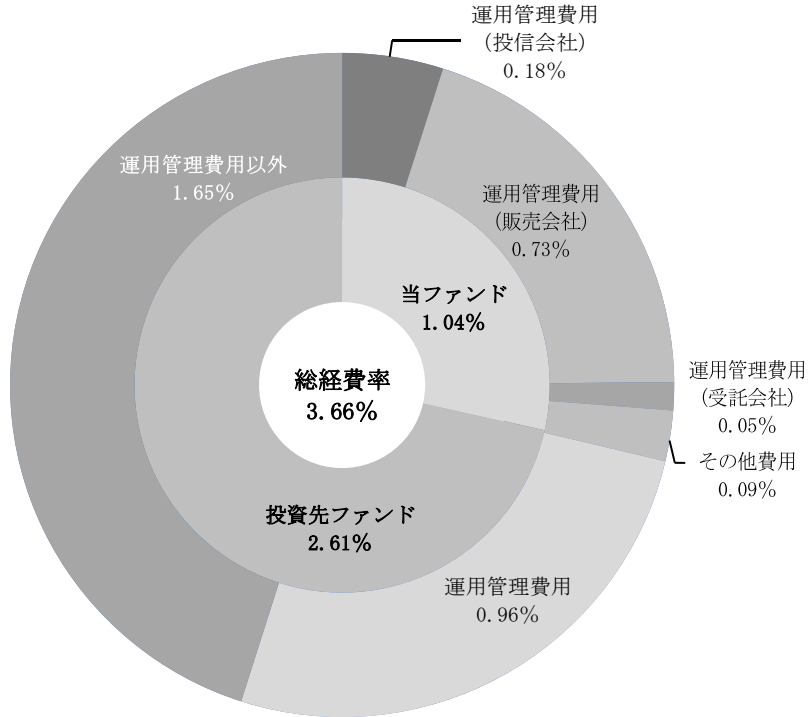
作成期中の平均基準価額は8,705円です。

- (注1) 作成期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。
- (注2) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注3) 各比率は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。
- (注4) 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。（親投資信託を除く）

(参考情報)

○ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は3.66%です。



総経費率 (①+②+③)	3.66%
①当ファンドの費用の比率	1.04%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.96%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	1.65%

- (注) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
 (注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
 (注) 各比率は、年率換算した値です。
 (注) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
 (注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
 (注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
 (注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

■ 売買および取引の状況 (2019年5月11日から2019年11月11日まで)

投資証券

銘柄名	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド	千口 —	千円 —	千口 13	千円 112,275

(注1) 金額は受け渡し代金。

(注2) 単位未満は切り捨て。

■ 主要な売買銘柄 (2019年5月11日から2019年11月11日まで)

投資証券

買付			売付		
銘柄	口数	金額	銘柄	口数	金額
—	千口 —	千円 —	SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド	千口 13	千円 112,275

(注1) 金額は受け渡し代金。(償還分は含まれておりません。)

(注2) 単位未満は切り捨て。

■ 利害関係人との取引状況等 (2019年5月11日から2019年11月11日まで)

(1) 当作成期中の利害関係人との取引状況

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

(2) 利害関係人の発行する有価証券等の売買状況及び期末残高

種類	当作成期		
	買付額	売付額	当作成期末保有額
投資証券	百万円 —	百万円 112	百万円 2,073

(注1) 単位未満は切り捨て。

(注2) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定する利害関係人です。

(注3) 当ファンドが主要な投資対象としている「SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド」は弊社の関係会社であるSPARX Asia Capital Management Limitedが運用を行っております。

■ 信託財産と委託会社との間の取引の状況 (2019年5月11日から2019年11月11日まで)

委託会社が行う第一種金融商品取引業及び第二種金融商品取引業に係る業務において、信託財産との当期中における取引はありません。

■ 委託会社による自社が設定する投資信託の受益証券又は投資法人の投資証券の自己取得及び処分の状況 (2019年5月11日から2019年11月11日まで)

該当事項はありません。

■ 組入資産の明細 (2019年11月11日現在)

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘 柄	前作成期末 第23作成期末	当作成期末 第24作成期末		
	口 数	口 数	評 価 額	比 率
SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド	千口 243	千口 230	千円 2,073,717	% 96.7
合 計	口 数 ・ 金 額 243	口 数 230	評 価 額 2,073,717	比 率 —
	銘 柄 数 < 比 率 > —	—	1 銘 柄	< 96.7% >

(注1) 合計欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	前作成期末 第23作成期末	当作成期末 第24作成期末	
	口 数	口 数	評 価 額
スパークス・マネー・マザーファンド	千口 9,964	千口 9,964	千円 10,269

(注1) 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

(注2) 当該マザーファンドの当作成期末の受益権総口数は、9,994千口です。

■ 有価証券の貸付及び借入の状況 (2019年11月11日現在)

該当事項はありません。

■ 投資信託財産の構成 (2019年11月11日現在)

項 目	当作成期末 第24作成期末	
	評 価 額	比 率
投 資 信 託 財 産 総 額	千円 2,073,717	% 95.9
ス パ ー ク ス ・ マ ネ ー ・ マ ザ ー フ ァ ン ド	10,269	0.5
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	78,565	3.6
投 資 信 託 財 産 総 額	2,162,551	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨て。

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第70期末 2019年7月10日	第71期末 2019年9月10日	第72期末 2019年11月11日
(A) 資 産	2,209,060,845 円	2,083,979,095 円	2,162,551,065 円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	60,261,835	77,076,904	78,564,768
スパークス・マネー・マザーファンド(評価額)	10,308,102	10,402,763	10,269,241
投 資 証 券(評価額)	2,138,490,908	1,996,499,428	2,073,717,056
(B) 負 債	40,293,718	16,006,406	18,257,337
未 払 収 益 分 配 金	10,902,002	10,819,764	10,676,008
未 払 解 約 金	25,754,647	1,615,077	3,976,507
未 払 信 託 報 酬	3,327,025	3,256,415	3,282,807
未 払 利 息	165	211	215
そ の 他 未 払 費 用	309,879	314,939	321,800
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	2,168,767,127	2,067,972,689	2,144,293,728
元 本	2,422,667,150	2,404,392,139	2,372,446,383
次 期 繰 越 損 益 金	△ 253,900,023	△ 336,419,450	△ 228,152,655
(D) 受 益 権 総 口 数	2,422,667,150 口	2,404,392,139 口	2,372,446,383 口
1 万 口 当 たり 基 準 価 額 (C/D)	8,952 円	8,601 円	9,038 円

<注記事項(当期の運用報告書作成時では監査未了)>

① 作成期首元本額	2,488,504,121 円
作成期中追加設定元本額	23,991,283 円
作成期中一部解約元本額	140,049,021 円

■ 損益の状況

項 目	第70期		第71期		第72期	
	自 2019年 5月 11日 至 2019年 7月 10日		自 2019年 7月 11日 至 2019年 9月 10日		自 2019年 9月 11日 至 2019年 11月 11日	
(A) 配 当 等 收 益	15,459,175円		15,166,257円		14,957,073円	
受 取 配 当 金	15,467,391		15,176,013		14,967,369	
支 払 利 息	△ 8,216		△ 9,756		△ 10,296	
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	28,761,254		△ 85,197,382		103,128,748	
売 買 益	29,961,609		1,148,834		103,719,245	
売 買 損	△ 1,200,355		△ 86,346,216		△ 590,497	
(C) 信 託 報 酬 等	△ 3,636,904		△ 3,571,354		△ 3,604,607	
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	40,583,525		△ 73,602,479		114,481,214	
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 131,435,439		△ 100,702,179		△ 182,090,217	
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 152,146,107		△ 151,295,028		△ 149,867,644	
(配 当 等 相 当 額)	(41,310,348)		(42,313,749)		(43,200,188)	
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 193,456,455)		(△ 193,608,777)		(△ 193,067,832)	
(G) 合 計 (D+E+F)	△ 242,998,021		△ 325,599,686		△ 217,476,647	
(H) 收 益 分 配 金	△ 10,902,002		△ 10,819,764		△ 10,676,008	
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	△ 253,900,023		△ 336,419,450		△ 228,152,655	
追 加 信 託 差 損 益 金	△ 152,146,107		△ 151,295,028		△ 149,867,644	
(配 当 等 相 当 額)	(41,310,348)		(42,313,749)		(43,200,188)	
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 193,456,455)		(△ 193,608,777)		(△ 193,067,832)	
分 配 準 備 積 立 金	470,832,029		466,740,653		462,915,130	
繰 越 損 益 金	△ 572,585,945		△ 651,865,075		△ 541,200,141	

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

② 分配金の計算過程

項 目		第 70 期	第 71 期	第 72 期
費用控除後の配当等収益額	A	14,187,713円	11,594,903円	14,500,369円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券等損益額	B	－円	－円	－円
収益調整金額	C	41,310,348円	42,313,749円	43,200,188円
分配準備積立金額	D	467,546,318円	465,965,514円	459,090,769円
当ファンドの分配対象収益額 (E=A+B+C+D)	E	523,044,379円	519,874,166円	516,791,326円
当ファンドの期末残存口数	F	2,422,667,150口	2,404,392,139口	2,372,446,383口
1万口当たり収益分配対象額 (G=E/F×10,000)	G	2,158.96円	2,162.18円	2,178.30円
1万口当たり分配金額	H	45円	45円	45円
収益分配金金額 (I=F×H/10,000)	I	10,902,002円	10,819,764円	10,676,008円

■ 分配金のお知らせ

	1万口当たり分配金(税込み)
第70期	45円
第71期	45円
第72期	45円

- ◇ 分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払を開始しております。
- ◇ 分配金を再投資される方のお手取分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。
- ◇ 課税上の取り扱い
 - ・ 分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と非課税扱いとなる「元本払戻金(特別分配金)」に分かれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は下回る部分の額が元本払戻金(特別分配金)となり、残りの額が普通分配金となります。
 - ・ 元本払戻金(特別分配金)が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

※ 詳細につきましては、税務専門家等に確認されることをお勧めします。
 なお、税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。

■ お知らせ

該当事項はありません。

ご参考として以下に、スパークス・アジア中東株式ファンド（隔月分配型）が組入れている各投資対象ファンドの運用内容を掲載いたします。

<参考情報>

SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド

SPARX ASIA MIDDLE EAST EQUITY INCOME FUND

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

設 定 形 態	ケイマン籍証券投資法人／オープン・エンド型
基 準 通 貨	日本円
運 用 方 針	アジア中東地域の株式ならびにそれらの株式に関連する証券等を主要な投資対象として、長期的なインカムゲインおよびキャピタル・ゲインの獲得を目指します。
主 な 投 資 制 限	一発行体への投資は純資産総額の10%以内。 流動性の低い株式関連証券等への投資は純資産総額の15%以内。 発行済株式に対する投資比率は50%以内。
決 算 日	12月末日
分 配 方 針	毎年、2月、4月、6月、8月、10月、12月の各末日に、インカム・ゲインならびにキャピタルゲインを原資として分配する方針としています。
管 理 運 用 会 社	SPARX Asia Capital Management Limited
投 資 運 用 会 社	SPARX Asia Investment Advisors Limited
受 託 会 社	HSBC Trustee (Cayman) Limited
受託会社代理人	HSBC Institutional Trust Services (Asia) Limited
保 管 会 社	HSBC Institutional Trust Services (Asia) Limited

(注) 記載内容、数値等は、当報告書作成日現在知りうる情報に基づき作成しております。

■ 組入資産の明細 (2019年11月8日現在)

外国株式等

銘柄	株数	評価額		業種等	備考
		外貨建金額	基準通貨建金額		
(アラブ首長国連邦市場)	百株	千UAEディルハム	千円		
First Abu Dhabi Bank PJSC	710	1,095	32,582	主要銀行	
小計	株数・金額 710	1,095	32,582		
	銘柄数<比率>	1銘柄	< 1.5% >		
(オーストラリア市場)	百株	千豪ドル	千円		
Aristocrat Leisure Ltd	270	854	64,190	娯楽用品	
CSL Ltd	58	1,524	114,587	バイオテクノロジー	
Sydney Airport Unit (Stapled)	473	416	31,306	その他輸送	
Transurban Group Unit	973	1,433	107,735	その他輸送	
Treasury Wine Estates Ltd	348	618	46,484	アルコール飲料	
小計	株数・金額 2,122	4,844	364,301		
	銘柄数<比率>	5銘柄	< 17.3% >		
(中国市場)	百株	千人民元	千円		
Kweichow Moutai Co Ltd A Shrs	16	1,928	30,146	アルコール飲料	
小計	株数・金額 16	1,928	30,146		
	銘柄数<比率>	1銘柄	< 1.4% >		
(香港市場)	百株	千香港ドル	千円		
AIA Group Ltd	1,266	10,432	145,700	生命・健康保険	
CK Asset Holdings Ltd	630	3,490	48,747	不動産開発	
China Mobile Ltd	235	1,511	21,105	無線通信	
China State Construction International Holdings Ltd (HKSE)	5,263	3,789	52,920	建設・土木	
Citic Telecom International Holdings Ltd	5,730	1,708	23,849	特殊通信	
Guangdong Investment Ltd	3,880	6,596	92,125	コングロマリット	
HSBC Holdings Plc (HKSE)	556	3,339	46,632	主要銀行	
Haier Electronics Group Co Ltd	1,490	3,449	48,176	電化製品	
Hong Kong Exchanges & Clearing Ltd (HKSE)	173	4,394	61,373	投資銀行・ブローカー	
Link REIT	90	766	10,697	不動産投資信託	
Nexteer Automotive Group Ltd	1,660	1,336	18,664	自動車部品：OEM	
Samsonite International	1,881	3,356	46,869	その他耐久消費財	
Sands China Ltd	492	1,998	27,899	カジノ・ギャンブル	
Tencent Holdings Ltd	251	8,213	114,706	インターネット・ソフトウェアサービス	
Travelsky Technology Ltd H Shrs	1,200	2,177	30,403	その他商業サービス	
小計	株数・金額 24,797	56,553	789,864		
	銘柄数<比率>	15銘柄	< 37.5% >		
(インドネシア市場)	百株	千インドネシアルピア	千円		
Bumi Serpong Damai Tbk	21,393	3,005,717	23,444	不動産開発	
Matahari Department Store Tbk	8,704	3,176,960	24,779	デパート	
Telekomunikasi Indonesia Persero Tbk	11,148	4,581,828	35,737	主要通信	
小計	株数・金額 41,245	10,764,505	83,960		
	銘柄数<比率>	3銘柄	< 4.0% >		

スパークス・アジア中東株式ファンド(隔月分配型)

銘柄	株数	評価額		業種等	備考
		外貨建金額	基準通貨建金額		
(インド市場)					
ITC Ltd (DMT) (NSI)	604	千インドルピー	千円		
Indiabulls Housing Finance Ltd	334	15,755	24,179	タバコ	
Zee Entertainment Enterprises Ltd (DMT) (NSI)	405	8,084	12,407	金融・レンタル・リース	
		11,636	17,858	娯楽コンテンツ	
小計	株数・金額	1,343	35,475	54,444	
	銘柄数<比率>	3銘柄	—	< 2.6%>	
(韓国市場)					
LG Household & Health Care Ltd	4	千韓国ウォン	千円		
Samsung Electronics Co Ltd	140	551,320	52,069	家庭用品・パーソナルケア	
		729,400	68,888	通信機器	
小計	株数・金額	144	1,280,720	120,958	
	銘柄数<比率>	2銘柄	—	< 5.7%>	
(マレーシア市場)					
Genting Malaysia	3,920	千マレーシアリンギット	千円		
Inari Amertron	2,315	1,274	33,693	カジノ・ギャンブル	
Malayan Banking	1,365	472	12,490	半導体	
		1,205	31,871	地方銀行	
小計	株数・金額	7,600	2,951	78,054	
	銘柄数<比率>	3銘柄	—	< 3.7%>	
(フィリピン市場)					
Puregold Price Club Inc	3,534	千フィリピンペソ	千円		
Universal Robina Corp	925	14,030	30,337	食品小売り	
		14,018	30,312	製菓業	
小計	株数・金額	4,459	28,048	60,649	
	銘柄数<比率>	2銘柄	—	< 2.9%>	
(サウジアラビア市場)					
Saudi British Bank (The)	110	千サウジアラビアリアル	千円		
		350	10,195	地方銀行	
小計	株数・金額	110	350	10,195	
	銘柄数<比率>	1銘柄	—	< 0.5%>	
(シンガポール市場)					
Silverlake Axis Ltd	2,083	千シンガポールドル	千円		
		96	7,705	情報技術サービス	
小計	株数・金額	2,083	96	7,705	
	銘柄数<比率>	1銘柄	—	< 0.4%>	
(タイ市場)					
Advanced Info Service Pcl NVDR	510	千タイバーツ	千円		
Kasikornbank Pcl NVDR	412	11,730	42,207	無線通信	
		6,283	22,608	地方銀行	
小計	株数・金額	922	18,013	64,815	
	銘柄数<比率>	2銘柄	—	< 3.1%>	
(台湾市場)					
MediaTek Inc	650	千台湾ドル	千円		
President Chain Store Corp	560	26,910	96,882	半導体	
Taiwan Semiconductor Manufacturing Co Ltd	1,510	17,304	62,299	食品小売り	
		46,131	166,081	半導体	
小計	株数・金額	2,720	90,345	325,262	
	銘柄数<比率>	3銘柄	—	< 15.5%>	

スパークス・アジア中東株式ファンド(隔月分配型)

銘柄		株数	評価額		業種等	備考
			外貨建金額	基準通貨建金額		
(米国 ADR 市場)		百株	千米ドル	千円		
Jardine Matheson Holdings Ltd (SGX)		39	222	24,299	コングロマリット	
小計	株数・金額	39	222	24,299		
	銘柄数<比率>	1銘柄	—	< 1.2%>		
合計	株数・金額	88,310	—	2,047,234		
	銘柄数<比率>	43銘柄	—	<97.3%>		

(注1) 基準通貨建金額は、当該ファンドの基準通貨(日本円)建の金額で、当該ファンドの計理基準に基づき換算されています。

(注2) < >は、当該ファンドの純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 上記の銘柄保有状況および評価額の情報は、当該ファンドの受託会社によって提供された情報に基づきますが、外部監査人による監査を受けておりません。

■ 損益計算書

損 益 計 算 書

自 2019年 5月10日
至 2019年11月 8日

(単位：千円)

収益		
受取配当金		42,344
受取利息		88
解約差益		0
その他収益		0
	収益計	<u>42,433</u>
費用		
支払利息		0
受託会社報酬		13,634
監査報酬		1,947
源泉税		4,076
管理運営会社報酬		10,375
管理事務報酬		1,614
設立費償却		0
その他費用		1,818
	費用計	<u>33,467</u>
純投資損益		<u>8,965</u>
投資有価証券及び外国通貨取引に係わる実現損益		
投資有価証券売買損益		△8,699
為替差損益		<u>△1,971</u>
		<u>△10,670</u>
投資有価証券及び外国通貨取引に係わる未実現損益増減		
有価証券未実現純評価損益増減		93,621
為替未実現純評価損益増減		<u>921</u>
		<u>94,542</u>
営業活動による純資産の純増減額		<u>92,837</u>

(注1) 上記の損益計算書は、管理運営会社が提供した純資産計算書の情報に基づき、弊社が作成したものです。

(注2) 管理運営会社が提供した純資産計算書は、外部監査人による監査を受けておりません。

スパークス・マネー・マザーファンド

第 12 期

決算日 2019年11月11日

(計算期間：2018年11月13日～2019年11月11日)

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	親投資信託
信託期間	無期限
運用方針	信託財産の着実な成長を図ることを目標として安定運用を行います。
主要投資対象	わが国の公社債を主要投資対象とします。主として、わが国の公社債に投資を行い利息等収益の確保を図ります。
主な組入制限	①株式(新株予約権証券を含みます。)への投資は、信託財産の純資産総額の30%以下とします。 ②同一銘柄の株式への投資割合は、取得時において信託財産の純資産総額5%以内とします。
分配方針	決算日毎年11月10日(休業日の場合は翌営業日) 収益分配は行いません。

スパークス・アセット・マネジメント株式会社

東京都港区港南一丁目2番70号 品川シーズンテラス

< お問い合わせ先 >

リテールBDマーケティング部

電話：03-6711-9200(代表)

受付時間：営業日の9時～17時

ホームページアドレス：<https://www.sparx.co.jp/>

■ 最近5期の運用実績

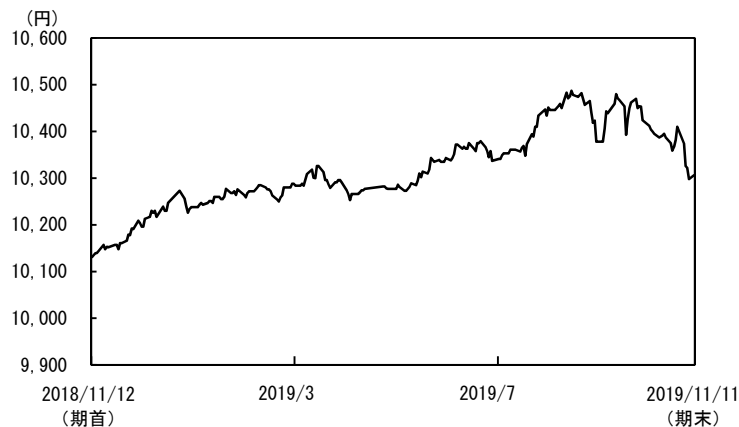
決算期	基準価額		債券 組入比率	純資産 総額
		期中 騰落率		
8期(2015年11月10日)	円 10,125	% 0.0	% 73.8	百万円 13
9期(2016年11月10日)	10,143	0.2	99.4	10
10期(2017年11月10日)	10,141	△0.0	99.5	10
11期(2018年11月12日)	10,131	△0.1	99.4	10
12期(2019年11月11日)	10,306	1.7	99.1	10

■ 当期中の基準価額等の推移

年月日	基準価額		債券 組入比率
		騰落率	
(期首) 2018年11月12日	円 10,131	% —	% 99.4
11月末	10,161	0.3	99.4
12月末	10,247	1.1	99.4
2019年 1月末	10,260	1.3	99.4
2月末	10,272	1.4	99.4
3月末	10,326	1.9	99.4
4月末	10,277	1.4	99.4
5月末	10,314	1.8	99.4
6月末	10,375	2.4	99.4
7月末	10,369	2.3	99.4
8月末	10,478	3.4	99.4
9月末	10,454	3.2	99.4
10月末	10,382	2.5	99.2
(期末) 2019年11月11日	10,306	1.7	99.1

(注) 騰落率は期首比です。

■ 基準価額の推移



■ 運用経過

当マザーファンドは、信託財産の着実な成長を図ることを目標として安定運用を行っています。当作成期間の運用にあたりましては、資産の安全性と流動性の確保を重視し、国債や短期金融資産中心の安定運用を行いました。

■ 今後の運用方針

引き続き、信託財産の着実な成長を図ることを目標として安定運用を行います。今後も、資産の安全性と流動性の確保を重視し、国債や短期金融資産中心の安定運用を行います。

今後とも引き続きご愛顧を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

■ 1万口当たりの費用明細

該当事項はありません。

■ **期中の売買及び取引の状況**（2018年11月13日から2019年11月11日まで）

該当事項はありません。

■ **利害関係人との取引状況等**（2018年11月13日から2019年11月11日まで）

(1) 当期中の利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

(2) 利害関係人の発行する有価証券等の売買状況及び期末残高

該当事項はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第 11 条第 1 項に規定する利害関係人です。

■ **信託財産と委託会社との間の取引の状況**（2018年11月13日から2019年11月11日まで）

委託会社が行う第一種金融商品取引業及び第二種金融商品取引業に係る業務において、信託財産との当期中における取引はありません。

■ **委託会社による自社が設定する投資信託の受益証券又は投資法人の投資証券の自己取得及び処分の状況**（2018年11月13日から2019年11月11日まで）

該当事項はありません。

■ 組入資産の明細 (2019年11月11日現在)

下記は、スパークス・マネー・マザーファンド全体(9,994千口)の内容です。

公社債

(A) 債券種類別開示

国内(邦貨建)公社債

区 分	当 期 末						
	額面金額	評 価 額	組入比率	組 入 比 率 (うちBB格以下)	残存期間別組入比率		
					(5年以上)	(2年以上)	(2年未満)
	千円	千円	%	%	%	%	%
国 債 証 券	10,000	10,211	99.1	—	99.1	—	—
合 計	10,000	10,211	99.1	—	99.1	—	—

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注2) 単位未満は切り捨て。一印は組み入れなし。

(注3) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注4) 残存期間が1年以内の公社債は原則としてアキュムレーションまたはアモチゼーションにより評価しています。

(B) 個別銘柄開示

国内(邦貨建)公社債

種 類	銘 柄 名	利 率	額面金額	評 価 額	償還年月日
		%	千円	千円	
国 債 証 券	第347回長期国債10年	0.1	10,000	10,211	2027/6/20
合 計		—	10,000	10,211	—

(注) 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

■ 有価証券の貸付及び借入の状況 (2019年11月11日現在)

該当事項はありません。

■ 投資信託財産の構成 (2019年11月11日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公 社 債	10,211	99.1
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	89	0.9
投 資 信 託 財 産 総 額	10,300	100.0

(注) 金額の単位未満は切り捨て。

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2019年11月11日現在)

項 目	当 期 末
(A)資 産	10,300,259 円
コール・ローン等	84,571
公社債（評価額）	10,211,800
未 収 利 息	3,888
(B)負 債	0
(C)純 資 産 総 額 (A-B)	10,300,259
元 本	9,994,224
次 期 繰 越 損 益 金	306,035
(D)受 益 権 総 口 数	9,994,224 口
1 万口当たり基準価額 (C/D)	10,306 円

■ 損益の状況

当期（自2018年11月13日 至2019年11月11日）

項 目	当 期
(A)配 当 等 収 益	9,971 円
受 取 利 息	9,973
支 払 利 息	△ 2
(B)有 価 証 券 売 買 損 益	164,700
売 買 益	164,700
(C)当 期 損 益 金 (A+B)	174,671
(D)前 期 繰 越 損 益 金	130,596
(E)追 加 信 託 差 損 益 金	768
(F)合 計 (C+D+E)	306,035
次 期 繰 越 損 益 金 (F)	306,035

< 注記事項(当期の運用報告書作成時には監査未了) >

1. 期首元本額 9,974,992 円
 期中追加設定元本額 19,232 円
 期中一部解約元本額 - 円
2. 期末元本の内訳
 スパークス・アジア中東株式ファンド(隔月分配型) 9,964,333 円
 スパークス・アジア中東株式ファンド(資産成長型) 10,659 円
 スパークス・ベスト・ピック・ファンドII(日本アジア)ヘッジあり 9,616 円
 スパークス・ベスト・ピック・ファンドII(日本アジア)ヘッジなし 9,616 円

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

■ お知らせ

2019年2月9日付で下記の通り投資信託約款の変更をいたしました。

- ・当ファンドの電子公告のアドレスにつき、弊社ホームページの URL 変更 (<https://www.sparx.co.jp/>) に伴い、投資信託約款に所要の変更を行いました。